

やまがたアフタースクール in 庄内

YAMAGATA AFTER SCHOOL in SHONAI



活動
報告

地域参加型
魔法の放課後プログラム。

2012

子どもたちが安心して 遊び、学べる、 創造的で豊かな 放課後の環境づくり。

ご自分が子どもだった頃を思い出して下さい。
放課後、友達と心ゆくまで遊んだ日々。ちょっと、悪戯をして大人たちに叱られた事があったかもしれません。
あの頃の日本には子どもたちが大人に見守られながら、のびのびと育っていける地域の基盤がありました。

——今は、どうでしょう。
子どもたちは学校の勉強と習い事に追われ、幅広い世代の人々と関わる事や自由に遊ぶ時間を確保することが困難な状況にあります。そのうえ親も忙しく、親の代わりに見守ってくれる地域の大人も減っています。このまま子どもたちと地域の関わりが希薄になれば県外への若者の流出や地域の高齢化は免れません。

そこで当団体は平成24年度から新たな事業「やまがたアフタースクールin庄内」をスタートさせ、子どもたちの放課後の居場所づくりを進めてきました。

地域の中には、生き生きと輝く元気な大人が沢山います。あなたが地域と仕事に誇りを持っているならば、それを子どもたちに伝える機会がここにあります。
アフタースクールでは、皆様と私たちが協力して職業体験プログラムを制作し、子どもたちが地域の大人と関わりながら能力や可能性、職業選択の幅を

地域の子供たちに希望を見出すきっかけを与えます。
子どもたちが「豊かな人生を送っている大人たち」と出会い刺激を受け、自ら物事を考え自己を表現することのできる創造的で豊かな放課後の居場所。それを作ることで、ご自分の職場に生まれる新しい地域交流の可能性を感じてください。
今回ご紹介する11プログラム
平成25年3月31日
NPO法人
公益のふるさと創り鶴岡

放課後プログラムとは？

What is After School Program?
地域の企業との連携により、子どもたちに見学ではなく、実際の仕事を体験してもらうプログラムです。企業や商店の皆様にはプログラム開発の際に助言を頂き、「市民先生」として技術や商品の魅力を子どもたちに伝えて頂きたいと考えています。
ご自分の仕事について知ってもらい、その大切さを子どもたちに理解してもらう事が狙いです。
メディアを通して情報発信を行うため社会貢献活動として企業のイメージアップも図れます。
ご自分の仕事の将来を担う子どもたちへ想いを伝えてみませんか？



- 仕事体験
- 企画・運営
- プログラムの開発
- 講師の派遣
- 参加者の募集
- プログラムの講師



2 和食プログラム
いいところを見つけて貰うと子どもはどこまでも頑張ります。



1 森林プログラム
子どもたちの初経験の感動が大人にも伝わりました。



5 印刷会社プログラム
学校でも塾でもない学びの場だから救われることもある。



4 樹木医プログラム
こんな仕事があるんだって知ると知らないじゃ大違い。



3 漁業プログラム
子どもたちの笑顔で地域の大人たちも元気になります。



8 映画館プログラム2
先生になった地域の大人も子どもたちから学びました。



7 映画館プログラム1
お客さんの時には気付かなかった仕事の大変さを実感しました。



6 商店プログラム
自分の意見を認められて子どもたちはやる気いっぱい。



11 自動車プログラム
職人の本物の技と現場を体で感じられるのがいい。



10 洋菓子プログラム
生クリームを一緒にまぜるそれだけですっかり友達です。



9 マスコミプログラム
取材を通して会話の大変さと大切さを学びました。

1

森林プログラム

森の仕事を体験しよう



子どもたちの感動を共有する

大きなキノコに触る、植物の葉で湧水を飲む、山に生えた杉の木を切り倒す。子どもたちにとっては、初めての体験ばかり。「先生、あの木はなんで折れているの?」

「見て見て!大きなカエルがいたよ!」

「湧水、すくうま〜!」

疑問や感動を次々と先生に伝える子どもたち。そんなとき先生は、子どもたちの疑問に優しく答え、子どもと一緒に感動を共有します。

子どもたちと先生の距離が近づく瞬間です。



Program Concept 森林の役割と森林を適切に管理することの大切さを学ぶ

【1回目】夏の森林探検、間伐・下刈り・ツタ刈り体験

2012年7月28日(土)

10時・15時 藤沢地区の森林

【2回目】秋の森林探検、

木の実・木の葉の観察と収集

2012年10月13日(土)

10時・15時 藤沢地区の森林

【3回目】森林で集めた材料で

作品制作、作品を旧風間家住宅

丙申堂に展示

2012年10月29日(月)

10時・15時30分

旧風間家住宅 丙申堂

【講師】佐藤吉則さん(財団法人克念社 森林管理者)、財団法人克念社の関係者の方々



みんなの感想

子ども

普段できない、木を切ることや草刈りができたからとてもおもしろかった。▼食べられる葉もあるんだな。▼木を切るのが楽しかった。もつと木を切って、いろいろなものを作りたい。

講師

前回、下刈りしたツルを切った場所を子どもはちゃんと覚えていた。▼将来、子どもたちが森の変化を体験できるようにになれば素晴らしいと思った。

保護者

前回のプログラムをうけて、それらを活用して、また新たに何かを作り出すのがとてもよい。▼本人(子ども)も作品に満足していました。



2

和食プログラム

おそば屋さんの仕事を体験しよう



子どもたちの いいところを 見つける

真剣に蕎麦打ちをする子どもたちの姿を見て「うまいねー！すごいーうちで働いてほしい。」「1回目よりうまくなったね。」などと声を掛ける先生。その言葉聞いたときの子どもたちの笑顔が忘れられません。

第2回目が終わったあとに、保護者の方から「ぼく、お蕎麦屋さんになりたいと言っていました。」「1回目が終わった後、私たちに食べさせたいと言って蕎麦を作ってくれました。」という嬉しい言葉を頂きました。子ども達からこのような感想が出てきたのは、常に子ども達の良いところを見てくれた先生のおかげだと思っています。



みんなの感想

 子ども

作るのにこんなにも大変な作業をするから、感謝して食べようと思いました。▼伸ばすときや切るとき褒められたことが心に残りました。▼1回目より、うまくできたことが嬉しかった。

 講師

子どもたちの個性いっぱい働いて、純真な心に接し、気持ちよく協力できた。▼スタッフの協力体制、事前打ち合わせがしっかりしていたことが良かった。

 保護者

1回目の体験から帰ってきたとき、「ぼくお蕎麦屋さんになりたい」と言っていました。▼私たちに食べさせたいと言って1回目が終わってから家で作ってくれました。

【1回目】石臼で蕎麦挽き体験、蕎麦打ち体験
2012年8月3日(金)
10時・13時
総合保健福祉センターにこふる
【2回目】蕎麦・蕎麦クレープ作り、保護者を招待して夕食会開催
2012年9月7日(金)
16時30分・19時30分 大松庵
【講師】漆山永吉さん(大松庵店長)





子どもの笑顔が 地域を元気にする

鼠ヶ関漁港で行われている「お魚夕市」。2回目のプログラムでは、お寿司屋さんから接客の方法を学んで、販売体験。

「いらっしやいませー！おいいですよー！」という子どもたちの声が会場内に響きます。「元気があって楽しそうではないね！」「子どもたちがいると賑やかでいいなあ。」この言葉を聞いて、ますますやる気が高まる子どもたち。

子どもたちの元気な声と笑顔で働く姿を見て、漁協の方々やお客さんもおつられて笑顔になっていきます。

子どもたちの笑顔は、地域の大人たちを元気にするのです。



みんなの感想

子ども

▼イカの種類をもっと知りたい。
▼イカの体や性質を学べた。
▼お金の計算をするのが難しかった。



講師

子どもたちが元気がよく、積極的なところがよかった。



保護者

イカの一夜干し作りを通して、色々な職業の人が様々な働き方をしているのが少しでも子ども達に分かってもらえたと思います。▼色々な人と触れ合うことによって、礼儀や挨拶の大切さを知ったと思う。

Program Concept 海産物がどのように 私たちの手元に届く のかを学ぶ

【1回目】イカの一夜干し作り体験、漁船の見学と乗船体験
2012年8月4日(土)

10時・12時 鼠ヶ関漁港

【2回目】セリの見学、水産加工品の販売体験
2012年10月5日(金)

16時30分・19時 鼠ヶ関漁港

【講師】飯塚厚司さん(鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」)、「蓬莱塾」の関係者の方々



4

樹木医プログラム

木を元気にする仕事を体験しよう



知らない仕事に ふれる

普段なげなく見ている公園や道端の木や植物。そういった街中の樹木の病気を診断・治療するのが樹木医のお仕事。

樹木医の先生は、家族や友達と接しているときのように、優しく木や植物に触れながら状態を確かめます。その姿を見て、自然と子どもたちも先生の真似をします。

子どもたちにとって樹木医は、決して身近な存在ではないかもしれませんが、

だからこそ、直接関わり、その仕事の重要性を肌で感じることが大切なのです。



Program Concept

街中の樹木の役割と 大切さを学ぶ

【1回目】樹木の名前や特徴を学ぶ、診断・治療を体験

2012年8月8日(水)

9時~12時

鶴岡公園、内川ほっとパーク

【2回目】「木の名札」を制作、

鶴岡公園に設置

2012年10月6日(土)

9時~11時 鶴岡公園

【講師】砂山隆司さん(鶴岡コミュニティガーデン 樹木医)

みんなの感想



子ども

肥料をあげるのが楽しかった。
▼樹液が垂れて固まるのにびっくりした。▼看板を作った木にかけるのが楽しかった。



講師

少し難しい話になったかもしれませんが、興味を持ってもらったことは楽しいことでした。
▼ただ何気なく見ている桜でも良い花を咲かせるには世話をしている人がいることを分かってもらえてよかった。



保護者

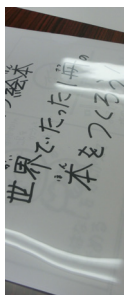
少人数だったので詳しい話をしてもらえて、子どももとても勉強になったと思う。▼実際のもを見ながら説明してもらえて分かりやすかった。





子どもにとって 楽しい居場所の 提供

「娘が学校に行きたくないと大変な時期で、母子共にまいっている時でした。しかし、この絵本作りは全てがイヤの中で、進んで行く数少ない所だったので大変ありがたかったです。作業後には何をしたらか会話もでき、学校の時のこわばった硬い顔が解れていくのが分かり感謝です。」
これは、6回目のプログラムに参加した保護者の方からいただいた感想です。アフタースクールをやっていてよかったです。心からそう思いました。



Program Concept

**絵本づくりの
技術を学び、自分の
想いを形にする喜び
を味わう**

【1回目】印刷会社の見学、絵本作りの手順を学ぶ
2012年9月21日（金）

アート写真印刷、美咲町公民館
【2回目】絵本のストーリーを
考えて、画用紙に下書きする
2012年9月28日（金）

美咲町公民館
【3回目】絵本の挿絵を
考えて、画用紙に下書きする
2012年10月12日（金）

美咲町公民館
【4回目】絵本のストーリーと
挿絵を清書する
2012年10月19日（金）

美咲町公民館
【5回目】絵本の製本
2012年10月26日（金）

美咲町公民館
【6回目】絵本の読み聞かせ会
2012年11月9日（金）

美咲町公民館
【活動時間】16時30分～18時30分
【講師】丸山俊男さん（アート
写真印刷代表取締役）

美咲町公民館
【活動時間】16時30分～18時30分
【講師】丸山俊男さん（アート
写真印刷代表取締役）

美咲町公民館
【活動時間】16時30分～18時30分
【講師】丸山俊男さん（アート
写真印刷代表取締役）

美咲町公民館
【活動時間】16時30分～18時30分
【講師】丸山俊男さん（アート
写真印刷代表取締役）

美咲町公民館
【活動時間】16時30分～18時30分
【講師】丸山俊男さん（アート
写真印刷代表取締役）

美咲町公民館
【活動時間】16時30分～18時30分
【講師】丸山俊男さん（アート
写真印刷代表取締役）

美咲町公民館
【活動時間】16時30分～18時30分
【講師】丸山俊男さん（アート
写真印刷代表取締役）

みんなの感想

 子ども

みんなの話のおもしろさにびっくりした。▼今までの思い出を振り返ることができた。▼本物の本みたいにできたからとても楽しかった。▼プロの絵本作家がどのようなものを作っているのかも知りたい。

 講師

子どもたちの発想力、表現力のすごさ、大人が見過ぎていないようなことも意外にしっかりと見ているということが分かった。

 保護者

堅苦しくなくフレンドリーな雰囲気の中で子どもたちが伸び伸びしている所がとても良いと感じた。





自分の意見が認められる場所

「駄菓子屋さんでは、どんな商品を売りたい?」「商品の並び方について意見のある人いますか?」

常に子どもたちに質問を投げかけ、子どもたちの意見を取り入れながらプログラムを進めていく先生。

「自分の話を聞いてもらえる」「自分の意見が認められる」雰囲気ができる、子どもたちは活発に発言をする。集中して作業にも取り組む。

子どもたちのやる気を高める場づくりの重要性を改めて実感した瞬間でした。



みんなの感想

子ども

お店の商品はみんなが協力して届いていることを学んだ。▼お店屋さんの大変さと楽しさが分かった。笑顔で接することや会話がないと、お店はできないということを知った。▼お客さんが買ってくれると嬉しいし、笑顔もうれしい。▼お客さんが「ありがとう」と言ってくれたことが心に残った。

保護者

子どもたちの真剣な表情に打たれました。▼駄菓子という子どもたちには身近な題材を取り入れたのも良かった。

Program Concept
商品流通のしくみや接客など販売の基礎を学ぶ

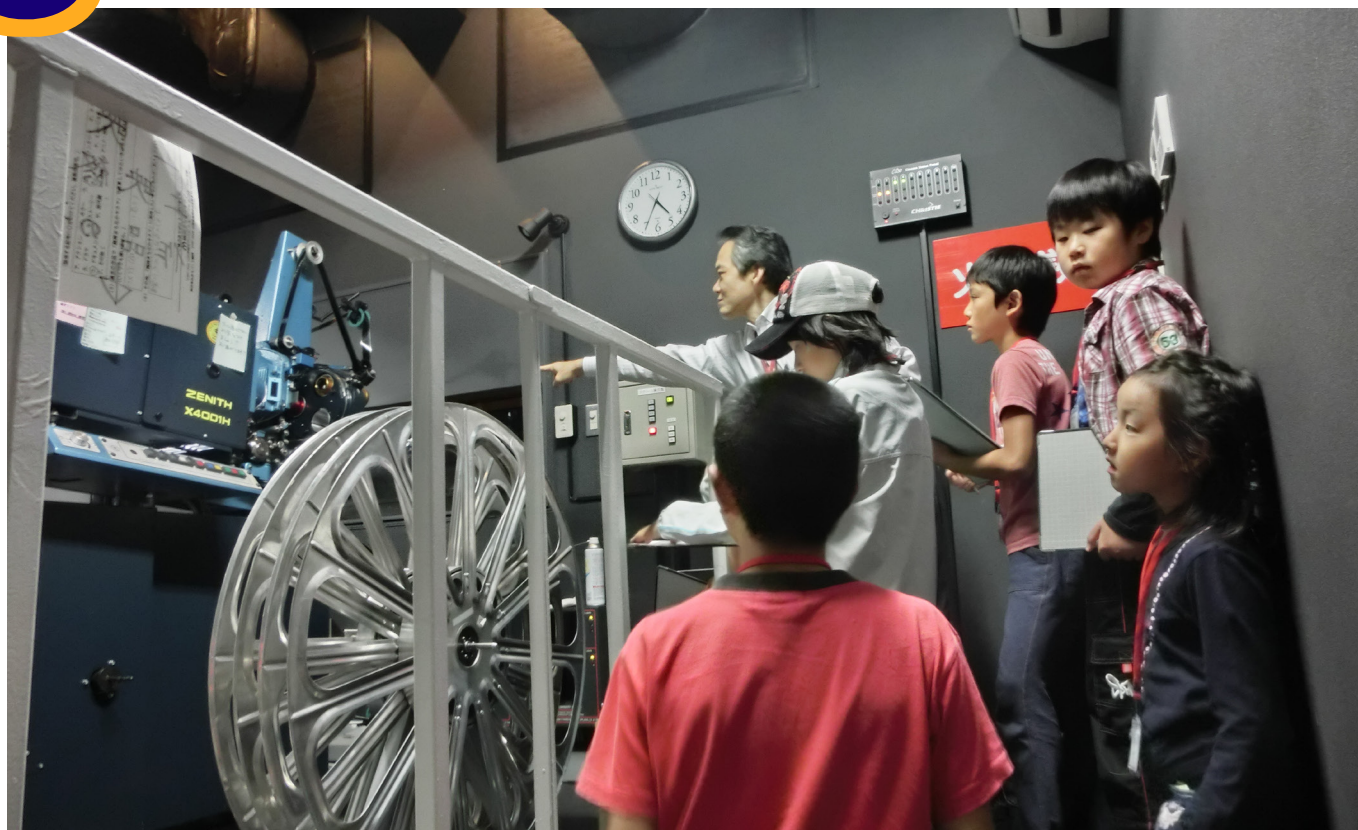
【1回目】挨拶の練習、商品の流通のしくみを学ぶ、仕入れる商品を決める
 2012年10月2日(火)
 16時30分 - 18時
 IDEHA Creation

【2回目】商品の陳列方法を考える、宣伝チラシ作成
 2012年10月9日(火)
 16時30分 - 18時
 IDEHA Creation

【3回目】山王ナイトバザールで「子ども駄菓子屋」出店
 2012年10月20日(土)
 18時30分 - 20時30分
 山王商店街

【講師】阿蘇桂一朗さん
 (ファミリーマート庄内あさひインター店 店長)





今まで見えなかった仕事を体験する

「映画館で働いている人には人と触れ合う仕事と触れ合わない仕事があるけれど、全て重要だということを学んだ」「掃除は大変で、こんな大変なことを毎日してすごいと思った」

そんな言葉を子どもたちから聞きました。

映画館は、お客さんの立場で行くと見えない部分がたくさんあります。

子どもたちが自ら隠れた仕事の大切さに気付き、映画館の面白さと大変さを実感する機会をつくることができました。



Program Concept

映画館の接客を学ぶ

【1回目】映画館の見学、映画館の仕事を知る

2012年9月26日(水)

16時30分 - 18時

鶴岡まちなかキネマ

【2回目】映画館の仕事(館内アナウンス、チケットもぎり、館内清掃、売店)を体験

2012年10月3日(水)

16時 - 18時

鶴岡まちなかキネマ

【3回目】映画館のスタッフになり、接客体験

2012年10月14日(日)

11時 - 16時

鶴岡まちなかキネマ

【講師】菅隆さん(鶴岡まちなかキネマ 企画部長) 澤井夏希さん(鶴岡まちなかキネマ スタッフ)、鶴岡まちなかキネマ スタッフの方々

みんなの感想



子ども

スクリーンに穴があいていてびっくりした。▼お客様に挨拶して、笑顔になってくれたことが心に残った。



講師

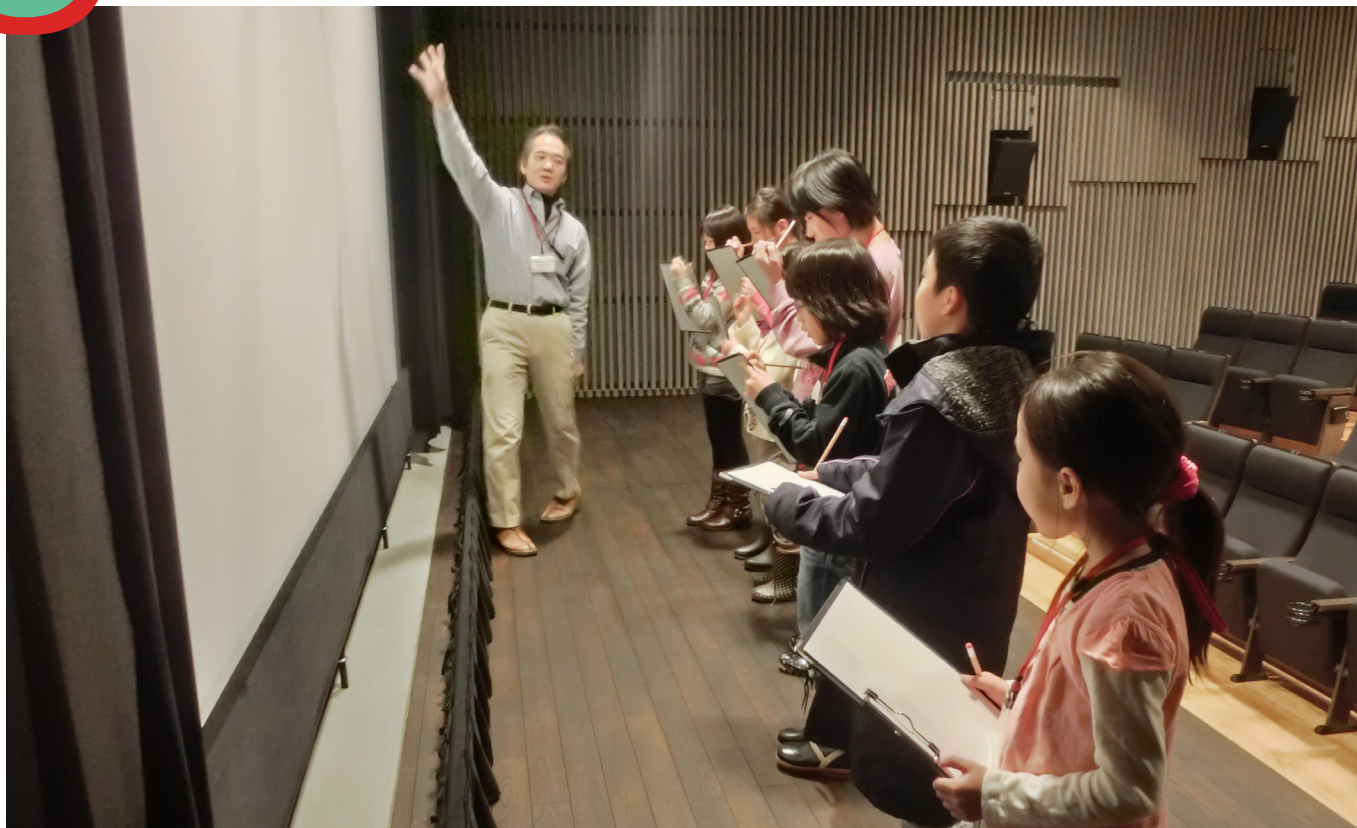
子どもたちの吸収力の高さにびっくりです。▼子どもたちに教えることで、改めて仕事を意識できるのでスタッフにもプラスになる。▼次からは、もっと難しいこともチャレンジさせてあげたいと思いました。



保護者

映画館スタッフのみなさんと本当にお客さん相手に仕事をさせていたでいて、働くことを学べたのでよかったです。▼普段、人前で話すのが苦手なのですが、一応「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」と接客している様子を見られて、家では見られない姿を見ることができて嬉しかったです。





先生として参加 できてよかった

「毎回、子どもたちの真剣さに驚かされます。」「みんなの目がキラキラしていて、興味を持ってもらえたことが嬉しかったです。」「教えることで、改めて仕事のことを意識できる。」「先生を務めた映画館スタッフの言葉です。」

参加者の子どもたちだけでなく地域の大人たちにも学びと発見がある、「先生をやってよかった」と言ってもらえるプログラムをつくること。

それも、アフタースクールの大事な役目だと考えています。



Program Concept 映画館で映画を 上映するまでの 過程を学ぶ

【1回目】映画館の見学、映画を上映するまでの過程を学ぶ

2012年12月12日(水)

16時30分 - 18時

【2回目】商店街映画祭で上映する映画を選択

2012年12月19日(水)

16時30分 - 18時30分

【3回目】映画祭に向けて接客(挨拶、入場券もぎり)の練習

2012年12月22日(土)

10時 - 12時30分

【第4回目】広報活動の重要性を学び、山王商店街に映画の宣伝チラシを配布

2013年1月17日(木)

16時 - 17時30分

【5回目】自分たちが選んだ映画を商店街映画祭で上映して、観に来たお客さんをもてなす

2013年2月16日(土)

9時 - 12時30分

【場所】

鶴岡まちなかキネマ(全日)

山王商店街(3回・4回)

【講師】菅隆さん(鶴岡まちなかキネマ 企画部長) 澤井夏希さん(鶴岡まちなかキネマ スタッフ)、鶴岡まちなかキネマ スタッフの方々

みんなの感想



子ども

普段見れないところに入って、色々なものを見たことが心に残った。▼1年間に800本の映画を作っているのにびっくりした。▼もっと色々な店に宣伝したかった。



講師

映写室の中を見たとき、顔がキラキラしていて皆さんすごく興味を持ってくださっているんだなと感じた。▼チケットをもぎる(切る)練習をするときに「もっと練習する」と自ら発言してくれたので良かったです。毎回、子どもたちの真剣さに驚かされます。





コミュニケーションの大切さ

「友達と話しているときは気づいていなかったけど、相づちを打ったり、話の感想を言うのが難しいということがよくわかった。」

ラジオの番組制作を通じて、子どもたちが学んだことは

「相手に自分の想いを伝える事」と「相手の話を引き出す事」の大切でした。

子どもたちは、これから多くの人と関わります。人と関わるときに、このプログラムで学んだことを少しでも活かしてくれたいと思います。



Program Concept

ラジオ番組ができるまでの過程を学ぶ

【1回目】ラジオ局の仕事について学ぶ、インタビュアーの練習
山王商店街と山王新酒祭りについて学ぶ

2013年1月8日(火)
16時30分 - 18時30分

【2回目】ラジオ番組の構成を考える、インタビュアーの質問内容を考える

2013年1月15日(火)
16時30分 - 18時30分

【3回目】ラジオの収録

2013年1月22日(火)
16時30分 - 18時30分

【4回目】取材した内容をエフエム山形で放送、山王新酒祭りの司会を練習

2013年1月25日(金)
16時 - 17時30分

【5回目】山王新酒祭りで司会を担当、山王新酒祭りの見学

2013年1月26日(土)
11時 - 13時

【場所】NPO法人公益のふるさと

創り鶴岡の事務所(全日)

山王商店街(3回・5回)

【講師】岩崎敬さん(エフエム山形) 松浦彩さん(フリーアナウンサー)

みんなの感想



子ども

感想を言いながら会話を成立させることなどインタビュアーの基礎を知れた。▼友達と話しているときは気づいていなかったけど、相づちを打ったり、感想を言うのが難しいということがよくわかった。▼毎週楽しみ▼とても楽しくて、もっとやってみたいと思いました。



講師

地域に密着したテーマで、全員が初めてのことに取り組むことが良かった。▼子どもたちの堂々とした姿に驚きました。





子ども同士の距離を縮める共同

ケーキのデコレーションに使う、生クリームはなんと2リットル。大きなボウルに生クリームを入れて子どもたちが順番に泡立っていますが、これがなかなか大変。30分以上泡立て「やっとできたー!」と子どもたちが歓声をあげました。

この共同作業のおかげで、違う学校の子ども同士もすっかり仲良しに。

みんなで力を合わせてひとつの事に取り組むことで、子ども同士の距離は確実に縮んでいくのです。



Program Concept お菓子作りの技術と職人の拘りを学ぶ

【1回目】お菓子屋さんの見学、デコレーションケーキのデザインを考える

2013年1月9日(水)
16時30分 - 18時30分

住吉屋菓子舗

【2回目】自分がデザインしたケーキを制作

2013年1月16日(水)
16時30分 - 19時

住吉屋菓子舗

【3回目】パーティを開いて、家族にケーキをふるまう

2013年1月23日(水)
16時 - 19時 住吉屋菓子舗

【講師】本間三英さん(住吉屋菓子舗 製造部長)

みんなの感想

 子ども

自分だけのオリジナルケーキのデザインを考えたことがとてもおもしろかった。▼今日は、最後の3回目だったけど、2回目でケーキを作ったときより上手にできたし、みんなとも仲良くなれた。▼もっと、ケーキが作りたくなりました。

 講師

ひとりひとりの創意工夫が、発揮された点が特に良かった。▼ケーキ作りの仕上げの段階になり、思う存分に個性を出し合い、張り切って作業をしていた。

 保護者

子どもが積極的にお手伝いをしたり、お菓子作りの話を親で出来た。▼毎回行くのを楽しみにしていた。▼普段入れないケーキ屋さんの中に入って作らせて貰えるのもいいと思います。





本物の技 本物の現場に 出会う

先生が特殊な工具を使って車の部品を外すたびに、解体作業場に響く子どもたちの歓声。

子どもたちは先生の技と見たことのない部品の数々に釘付けでした。本物の技と本物の現場を体験することは、どんなに素晴らしい教科書や映像より何倍も子どもたちにとって重要な教材になる。

そう信じてアフタースクールに取り組んでいます。

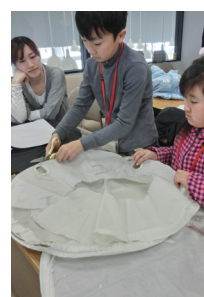


Program Concept

リサイクルの 大切さを学ぶ

【1回目】使用済み自動車の解体、新商品のアイデア会議
2013年3月8日（金）
16時～17時30分
エコショップ・カーセンター庄内
【2回目】使用済みエアバックでトートバックを制作、店内に展示
2013年3月9日（土）
13時～15時

エコショップ・カーセンター庄内
【講師】土田啓志さん、渡部遙さん（山形県自動車販売店リサイクルセンター）、エコショップ・カーセンター庄内の関係者の方々



みんなの感想

 子ども

車の部品がたくさんあるのにびっくりした。▼エアバックでバックが作れることにびっくりした。▼車のネジを外すのが難しかった。

 講師

子どもたちの笑顔を見てよかったです。▼子どもたちが喜んでくれて嬉しかった。実際にスパナやドライバーなどの工具を持って解体しているときの子どもたちの目の輝きや真剣な表情を見たり、一緒に力を合わせて部品を取り外したりしたときの歓声を聞いて、協力できてよかったと思います。

 保護者

子どもが楽しく話をしてくれた。▼自分で使えるバックを作ることができてよかった。▼バックに好きな絵を描けて、子どもが喜んでいた。



みんなで応援！ 未来を担う子どもたち



鶴岡市立小中学校の児童が、洋菓子づくりの体験活動に参加している様子。左から、鶴岡市立小中学校の児童が、洋菓子づくりの体験活動に参加している様子。

やまがたアフタースクール

地域の企業・住民が講師を再構成するとともに、師となり、小学生が地域で教育力を取り戻す。社会体験を通して、やまがたアフタースクールが、市内各小学校で実施されている。本年度は、県が公認した企業・団体から講師を募集し、市内各小学校で実施されている。本年度は、県が公認した企業・団体から講師を募集し、市内各小学校で実施されている。

映画館スタッフなど体験

鶴岡で21日から秋プログラム 映画館スタッフなど体験 鶴岡市立小中学校の児童が、洋菓子づくりの体験活動に参加している様子。左から、鶴岡市立小中学校の児童が、洋菓子づくりの体験活動に参加している様子。

アフタースクールin庄内 小学生向けの職業体験 参加者を募集中



秋に好評だった映画館プログラム 来年1月8日から26日まで、全5回、FM山形ラジオパーソナリティの岩崎敬さん、フリーアナウンサーの松浦彩さん、講師を迎え、ラジオ局の仕事や、実際に取材に出掛けて内容を編集し、5分間の番組として

小学生を対象に、職業体験や社会体験の機会を提供する「やまがたアフタースクールin庄内」の冬のプログラムが12月12日からスタート。現在、参加者を募集している。今回は「映画館」「マスコミ(ラジオ局)」「洋菓子」3種類の仕事体験プログラムを企画。映画館プログラムは12月12日から全5回、今秋に開催し好評だったため2弾を実施することにした。鶴岡市まちなかキネマ会場に来年2月16日に開催される「商店街映画祭」に向けた上映映画の選考や宣伝活動に参加当日はスタッフとして接客も担当する。

2012年12月1日 鶴岡タイムス

メディア 掲載記録

7月15日	鶴岡タイムス
9月12日	庄内日報
11月30日	庄内日報
12月1日	鶴岡タイムス
新聞掲載	2013年
2月20日	庄内日報
3月11日	鶴岡タイムス
3月15日	鶴岡タイムス
テレビ出演	2013年
1月20日	YBCやまがたサンデー5
その他メディア	2013年
3月	県民のあゆみ3月号

発表。地域の大人が仕事の魅力を 子どもたちに伝える 11 の実践。



求む、市民先生。

アフタースクールでは子どもたちの講師として放課後社会学習に協力して下さる企業や店舗を募集しています。

「やまがたアフタースクール in 庄内」活動報告

2013年3月31日発行

編集 阿部等 吉田祐子 松浦希

デザイン 原井洋徳

発行 特定非営利活動法人 公益のふるさと創り鶴岡

住所 997-0028 山形県鶴岡市山王町 9-29

電話 /FAX 0235-25-6320

E-mail yamagatakodomoatelier@yahoo.co.jp

発行所(有) アート写真印刷